

はじめに

芦別市は、北海道のほぼ中央に位置し、総面積の約9割を森林が占め、芦別岳、岨山、イルムケップ山といった山々に囲まれた、緑豊かなまちです。

また、南北に空知川が流れ、人造湖である滝里湖や野花南湖があり、豊富な水資源にも恵まれています。

私たちは、このような豊かな自然環境を財産として、次代を担う世代に引き継いでいかなければなりません。

しかしながら、近年、地球温暖化による異常気象や災害の発生など、私たちを取り巻く自然環境は大きく変化しています。

このような中、国においては、平成30年4月に「第5次環境基本計画」を策定し、地球規模の環境の危機を反映した国際的合意である、持続可能な開発目標（SDGs）やパリ協定など国際的な潮流を取り入れ、環境に関する課題のみでなく、経済・社会的課題も同時解決していくため、6つの「重点戦略」（経済、国土、地域、暮らし、技術、国際）を設定し、施策を展開しています。

また、本市においても、「芦別市環境基本条例」の基本理念の達成に向け、平成21年3月に「芦別市環境基本計画」を策定し、その後、平成25年1月には同計画の改訂を行い、地球温暖化など地球規模の問題から、廃棄物の不法投棄といった身近な生活環境の問題への対応など、様々な施策を総合的、計画的に進めてきました。

このたび、令和2年3月に前計画の計画期間が終了することから、根幹となる目指す望ましい環境像は踏襲しつつ、国や北海道の動きや社会情勢の変化を踏まえるとともに、基本目標の見直しや個別施策の統合整理などを行い、本市の環境施策をさらに推進するよう、今後10年間を見据えた「第2次芦別市環境基本計画」を策定しました。

環境への負荷が少ない持続的発展が可能な循環型社会を目指し、さらなる取組を進めてまいりますので、市民や事業者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました市民の皆様と、ご尽力をいただきました芦別市環境審議会の委員の皆様へ深く敬意と感謝を申し上げ、計画策定にあたってのごあいさつといたします。

令和2年3月

芦別市長 荻原 貢